

玉虎濟

一天略宇宙合掌

万事不盤

天地陰陽之構

# 空手

敵右手拳面突をまろる。

我れ左腕は敵の右拳受け忽ち右手刀  
にて敵の右手骨の下を折る折る。

敵右足にて蹴込み来る。

我れ左足にて敵の右足下より蹴上げる。

同時に左手押指にて敵胸佛滅に当らん。然

禁軍せん興よ

敵右平拳面部に打込みに来る

我小左腕にて受けり

敵右足人蹴込み来る

我小左敵の右足を右足にて蹴上げる

敵右平にて我が胸捕る

我小左平平刀敵の右首筋を打ち込

んで其平敵の右平首を持つている

同時に右足 我が後方横に引く

敵の右手を逆捕りにして一寸敵を内  
向に捕之

忽ち變化して左手敵の右手肘の處を握  
み引くのと同時に右手大きく左方に

返すのと角び右足にて蹴止めを仰向  
けに倒し左足にて胸を蹴込んて残人

彈たんとん手しゅ

敵我が右袖を右手にて掴む

我小右手一寸手先てに引き右手右に廻す

敵在平逆に右に

敵右平拳打止外系子

我小右手にて敵右拳没思右手刀敵

在直に打込むと同時に左果にて敵

在足竹拵に蹴込中右手逆締め

敵仰向きに倒る右足にて脇を蹴り当り

残心

# 弾指だんし

敵左手にて我が先胸を挿す

我れ右手敵の左手を逆挿りにす

敵忽ち右手拳面部に打込みす

我れ左腕にて受け忽ち左手棚指にて敵の

胸に当込す同時に右足にて蹴込むのと

右手逆締め一刺

敵仰向けに倒す

右足敵胸蹴

# 集シヨウ雄ウ

敵大刀正に抜かんとす

ここに敵一歩引いと抜かんとす勦

我れ集シヨウの如く敵の刀のつか頭

を右手に押さる

我れ勿心う右手拇指にて敵の鼻

の下を突く敵手をはなす

忽ちつかを右手にて持つて  
引くのと時は同じ 我が方に刀  
を抜き

左手の刀身にこそ之を突く構

執心



# 集怨

敵大刀正に抜かんとす

秘れ右手にて前の如くつか頭を

押え子

敵右手にて我が左手首を打

秘れ思敵の左側は身を転じ

右手にて刀の後サヌを持

右手にて敵の右手首を持ち  
右手を上げると丁度敵の右

手を刀のふちで押さへる。

刀のつかは敵の右足をかき

事とす。 (一) 水力

(一) 敵府向けに倒れ刀で押さへる

(一) 忽ち右足に蹴込んで倒し押

え捕らふ。